

「熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査（2015）」

医学情報の研究利用について

南和歌山医療センター 救命救急センターは、これまで熱中症の治療および研究において多くの実績をあげてきました。そこで、このたび日本救急医学会 熱中症に関する委員会が実施する熱中症発生の実態調査を全国の日本救急医学会 指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中病院の救急部と共同で行うこととなりました。調査対象となるのは、2015年7月1日から2015年8月31日までの間に熱中症のため上記の施設を受診し、入院となった患者さまです。

調査項目は、年齢、性別、発症日、発症の時間帯、発生時の天気、重症度などです。これらのデータにおいて、すべての患者さまは匿名化され、お名前や住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありませんのでご安心ください。調査したデータは日本救急医学会 熱中症に関する委員会にFaxで送付され、他の施設から同様に送られてきたデータとともに集計された後、翌日に関連諸機関へ警告するため、公開されます。さらにその後、気象庁や総務省消防庁のデータなどと統合し、的確な熱中症注意報を発令するための方法論の確立に向けて解析が行われます。データについては、研究期間中（2015年7月から2016年8月）は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーにて破棄され、電子データは匿名化した状態で完全に消去されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究の調査対象の患者様で調査に同意されない方はお申し出ください。

このお知らせは2015年7月1日より8月31日まで南和歌山医療センター内に掲示します。

この件に関しまして、ご質問などございましたら、下記 研究責任者に遠慮なくお尋ねください。

研究責任者 南和歌山医療センター 救命救急科 川崎 貞男 電話：0739-26-7050（代表）
